

茜 あかねぐも 雲

令和 4年

11月24日(木)

【No. 21】

『ここからが本当の頑張りどころ！』

みなさんが一つの大きな目標に置いていた「3年生2学期の期末考査」が先週終了し、その答案がすべて返却されました。結果はどうだったでしょうか？自分として満足する結果は残せましたか。それとも、“もう少しこうしておけば…”という後悔の念が残っている人もいるのでしょうか。いずれにしても、結果は出てしまったわけですから、まずはその事実をきちんと受け止めなければなりません。そして、一つ一つの教科についてきちんと反省を行ったら、すぐに気持ちを切りかえることが肝心です。いつまでも“過去”を振り返っているわけにはいきません。どんなに思い返してみても、今回のテストをやり直すことはできません。目を先に向けて、次の一步を踏み出していかななくてはならないのです…。

ここで、過去に何回も3年生を見てきて心配な点の一つお話しておきます。実は、3年生のこの時期になって、フッと力が抜けてしまった受験生を何人も見てきました。2学期の期末考査というのは、当然3年生にとってはとても重要な意味をもっていますね。それが終って、「身近な目標」を見失ってしまったことで、勉強に身が入らなくなってしまうという状態のようです。中には、そこまで猛勉強していたのにパッタリと力尽きてしまった人たちもいました。言わば、今は受験生にとって“魔の時期”なのかもしれません…。

さて、あなた自身はどうですか？そのような心境に陥っていないでしょうか。冷静に考えてみれば、今回の期末考査がみなさんにとっての最終目標ではないことは分かるはずです。確かに、このテストを含めこれまでのすべての学習の成果を元に2学期末の成績、言いかえれば「3年生としての現時点での学年の成績」が出されます。それが、推薦入試の基準に使われたり、都立入試のときに調査書点として点数化されたりするのも事実です。しかし、その本番の入学試験はまだ2か月半も先なのです。この本番直前の一日一日が、力を伸ばすのに一番大切な時間になるのは言うまでもありません。この時期に全力投球で勉強して実力が上向きの状態で本番を迎えるのと、力尽きて失速し下降線をたどった状態で本番を迎えるのでは、どんなに大きな差となるかは想像できるでしょう。

そうなのです、“ここからが本当の大きな頑張りどころ”なのです。みなさんは、現在それぞれ自分の目標を胸に秘めているはずです。その夢を実現するための最後の努力をするときが来たのです。**『今頑張らずしていつ頑張るか！』**～まさにこの言葉を胸に、それぞれの目標に向かって次の一步を力強く踏み出していきましょう！

『面談に向けてしっかりとした準備を…』

いよいよ来週の木曜日、12月1日から三者面談が始まります。進路決定に向けての面談はこれが最後になります。この面談では、今まで家族や先生と相談しながら考えてきた自分の進路希望を、最終的に絞っていくことになります。前回の面談では、「1学期末の成績」を参考に進路希望先の合格可能性などを検討してきましたが、今回の最終面談では事前に「学年の成績」の仮内申（3科／5科／9科の数値）を伝えるので、より具体的な話し合いがもてるはずです。

そこで、みなさんに考えてほしいことがあります。面談はこれが最後になるので、あらゆる場面を想定して「自分の希望」をまとめてきてほしいのです。例を挙げてみると、次のようなことが考えられます。

- * 私立高校推薦受験を希望するのであれば、自分の成績が第1志望校の基準に達しなかった場合はどうするのか？
 - ・ 推薦受験をあきらめて一般受験で挑戦するのか
 - ・ 第1志望をあきらめて、基準に合う別の私立高校を推薦受験するのか ～など
(㊦ 推薦入試は校長先生からの学校推薦がいただけた場合に受験できます)
- * 都立高校第1志望であれば、推薦受験を希望するのかしないのか？
 - ・ 推薦入試に挑戦し、不合格だったら同じ都立高校を再受験するのか
 - ・ 推薦入試に挑戦し、不合格だったら違う都立高校を受験するのか
 - ・ 推薦入試は挑戦せずに、一般入試のみ受験するのか ～など
- * 第1志望の学校に合格できなかったらどうするのか？
 - ・ 第2志望の学校を受験するのかしないのか。しないならば、第1志望が不合格だった場合はどうするのか
 - ・ 第2志望の私立高校を受験するときに、一般入試を受験するのか併願優遇制度を利用するのか ～など
- * 都立高校のみを受験するとき、不合格だった場合にどうするのか？
 - ・ 分割後期募集、2次募集を受験するのかしないのか
 - ・ 定時制の2次募集を受験するのかしないのか ～など

いくつか挙げてみましたが、まだまだいろいろなケースが考えられます。それこそ、一人一人状況が違うはずです。ところで、上の例を見てみると“不合格だった場合…”というフレーズが何回も出てきます。「縁起でもない、悪いことは考えたくない!」と思う人もいかもしれませんが、そうではありません。今回の面談では、いろいろなケースを想定して、特に“思い通りにいかなかった場合にどうするのか”をきちんと相談しておく必要があるのです。それがきちんと考えられていれば、あとは第1志望合格を目指して、全力で勉強していくことに専念できるはずだからです。

今週中に最終面談に向けて、もう一度家族としっかりと話し合いをもってください。自分の進路のことですから、決して逃げたり投げやりになったりせぬように、しっかりと現実を見つめて考えをまとめていきましょう!